

平成14年度佐賀環境フォーラムについて

①事業報告

1 参加状況

- 学 生 38名
- 市 民 37名
- 実行委員会学生 16名

2 周知方法等

- 学 生 ・学内掲示版で周知
- 市 民 ・市庁舎,公民館,図書館等にチラシ設置 ・佐賀市ホームページ掲載 ・市報掲載 ・新聞広告欄
(市持分)掲載 ・市政記者への取材等依頼

3 フォーラム内容

1 開 会

(1)日 時 平成14年 5月28日(火) 18:40～19:00

2 講 義

【会 場】 佐賀大学全学教育センター大講義室／文化教育学部1号館第2講義室

【期 間】 5月28日(火)～7月12日(金) 毎週 火・金 19:00～20:30(原則)

【講 義】

5月28日(火)	佐賀大学理工学部教授 宮島 徹 氏	地球環境と生命
6月1日(土)	佐賀市環境下水道部 部長 秦 康之 氏	環境にやさしいとはどういうことか
6月4日(火)	佐賀大学経済学部助教授 檜澤 秀木 氏	廃棄物紛争とリスク・コミュニケーション
6月7日(金)	株式会社新菱常務取締役兼株式会社リサイクルテック 代表取締役 麻生 和男 氏 株式会社リサイクルテック事業部長 前川 浩 氏	産業廃棄物とリサイクルについて
6月11日(火)	佐賀大学理工学部教授 宮島 徹 氏	地球温暖化問題
6月14日(金)	佐賀大学農学部助教授 大島 一里 氏	作物に被害を与える病原ウイルス-組み換え植物など-
6月18日(火)	国土交通省武雄工事事務所所長 島谷 幸宏 氏	多自然型の川づくりについて
6月21日(金)	佐賀市環境課新炉建設室室長 片岡 卓司 氏	ごみとエントロピー
6月25日(火)	佐賀大学農学部助教授 林 信行 氏	加圧熱水法を用いた植物系バイオマスの高度利用
6月28日(金)	元・環境コンサルタント兼ジャーナリスト川崎 陽子 氏	ドイツ連邦共和国の環境政策 -連邦政府の基本理念と地方自治体の事例-
7月2日(火)	佐賀県教育センター研究員 上赤 博文 氏	佐賀の植物及び移入種の影響について
7月5日(金)	リコー計器株式会社事業企画室総務課主任 江藤 一弘 氏	企業の環境活動について
7月9日(火)	佐賀医科大学教授 友国 勝麿 氏	化学物質暴露による健康影響の評価
7月12日(金)	佐賀大学低平地研究センター助教授 山西 博幸 氏	佐賀低平地および有明沿岸域の水環境と生態系

【現地見学】

(1)自然生態系見学会

[期 間] 平成14年6月22日(土)

[内 容] 佐賀市多布施川及び金立山周辺 トンボや昆虫,植物,魚など佐賀市で見ることができる動植物を、現地で実際に見ながら講義

[講 師] 佐賀トンボ研究会(東 和敬 氏・中原正登 氏)
佐賀自然史研究会(濱野大作 氏・上赤博文 氏)

(2)ごみ・水処理施設等見学会

[期 間] 平成14年7月6日(土)

[内 容] 佐賀市の清掃センターや最終処分場,資源化センターを見学し、実際のごみ処理の状況などを現地で実際に見ながら講義。また、下水道の浄化センターを現地で実際にみながら講義。

[講 師] 佐賀市職員

(3)有明海見学会 (40名程度)

[期 間] 平成14年7月6日(土)

[内 容] 有明海について、実際に干潟に入ってもらいながら、その自然環境を体験してもらった。

【グループ・ワークショップ】

[期 間] 平成14年10月～平成14年12月(3ヶ月間)

[グループ(テーマと指導教官)]

- 1)CO2排出の少ない生活を送るとどのくらい不便か? :理工学部 教授 宮島 徹
- 2)佐賀の自然を再発見する。:文化教育学部 教授 宮脇博巳
- 3)プラスチックはリサイクルすべきか? :農学部 助教授 林 信行
- 4)佐賀のクリークをどう甦らせるか? :理工学部 教授 岩尾雄四郎
- 5)合成洗剤と石鹼:佐賀医科大学 教授 友国勝磨
- 6)有明海で何が起きているのか? :佐賀大学低平地研究センター 助教授 山西博幸,
農学部 教授 瀬口昌洋
- 7)車に頼らない街づくりを考える。:経済学部 助教授 檜澤秀木

【研究成果発表会・終講式】

[日 時] 平成15年1月26日(日)10:00～16:00

[場 所] 佐賀大学全学教育センター2号館 1階 211教室

今 後 の 課 題

①講義内容

前年度と今年度と違いを持たせる必要があるため、講義内容(分野や項目、講師陣の人選等)を一新する必要がある。

②現地見学の実施方法

現場での講義・見学だけでなく、より体感しながらという視点を入れた内容での企画を検討する。

③企業の参加促進

企業における環境教育としても活用できるよう、講義の選択受講を可能にするなどの制度の見直しを検討する。